記　者　発　表

令和２年　９月　１日
国　土　交　通　省
東 北 技 術 事 務 所

応急組立橋の架設点検を実施します
～災害時の輸送経路確保のために～

東北技術事務所では、東日本大震災の経験から導入した応急組立橋について、架設点検の関係者向け見学会を開催します。

「応急組立橋」は、地震および洪水等により被災した道路や橋梁に代わり、現地で組立出来る仮設橋で、緊急車両や災害対策車等の輸送路を確保する重要な役割を担っています。

架設点検は、応急組立橋の出動に備え、架設時に不具合が無いか確認を行うものです。

１．日　時：令和２年　９月　８日（火）１４：００～１５：２０

※架設点検は、９月８日～９日の２日間で実施しますが、上記時間においてクレーンを使用した主構の架設を予定しています。

なお、点検に使用する応急組立橋は、東日本大震災の経験を踏まえ、緊急車両を早急に通行させるべく平成２４年度に導入したものです。（別紙－１）

２．場　所：東北技術事務所構内（別紙－２）

※見学を希望される方はヘルメットを準備しますので、問い合わせ先まで連絡をお願いします。

新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用をお願いいたします。

※天候により中止とさせていただく場合があります。

発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北技術事務所
住　所：多賀城市桜木三丁目６－１
ＴＥＬ：０２２－３６５－８１５８（代表）
副所長（機械）　伊藤（いとう）　圭（けい）
防災・技術課長　石川（いしかわ）　功（いさお）

別紙－1

応急組立橋(1車線橋)

ワーレントラス橋40m×4m

～応急組立橋の概要～

台風等による橋梁の損壊、地震による道路崩壊などに、道路機能の復旧用仮橋として配備されています。

～応急組立橋の特徴～

◆主構の各パネルは、中間が２m・４m・８m、端部が５mのパネルで構成されており、最小１０mから２mごとに、４０mまで架設可能です。

◆設計荷重は「道路橋示方書」のB活荷重（２５ｔ）によっています。

◆車道幅員を４m(片側通行)として橋梁全体を軽量化
◆主構のパネル接合はピン接合、他のボルトも極力統一化
◆覆工板の大型化（２m×２m）

従来の6.5m幅（2車線）組立橋より**架設時間を短縮**しました。

～見学会について～

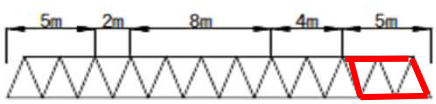
今回の架設点検は、本橋４０mのうち本橋２４m･スロープ１４m両側･ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ

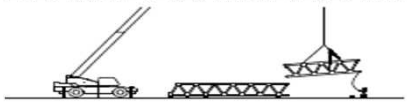
見学会作業内容（予定）

両側スロープ及び片側主構が取付けられ、
端部５mに玉掛けした状態でスタート

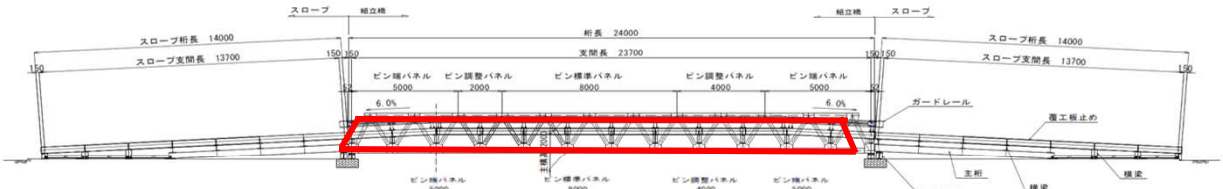
① 主構組立（端部５m） 【約１０分】
② 主構一括架設（片側） 【約２０分】
③ 横桁取付け（４本） 【約１５分】
④ 覆工板取付け（４枚） 【約１５分】

①

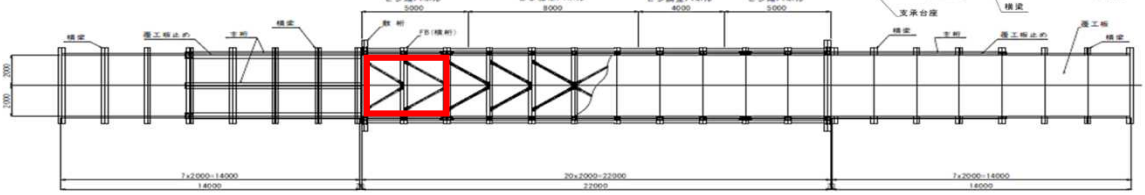




②



③･④



※イメージ

②



③



完成

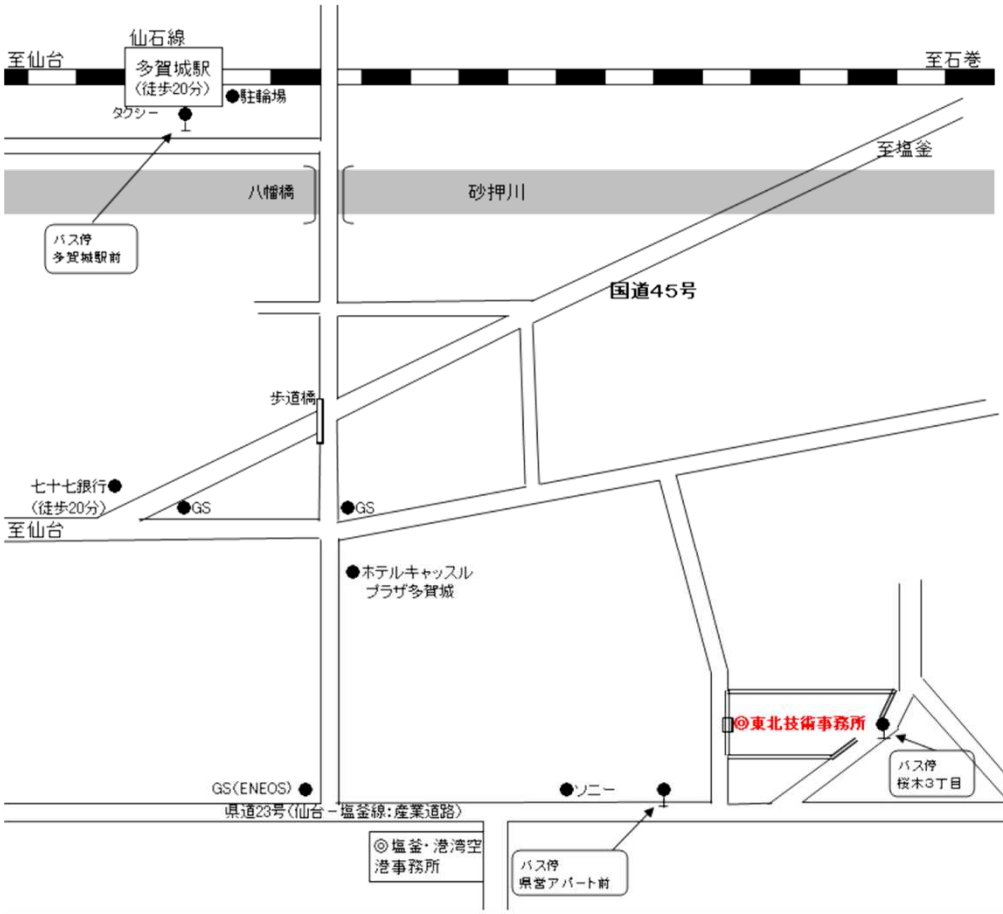


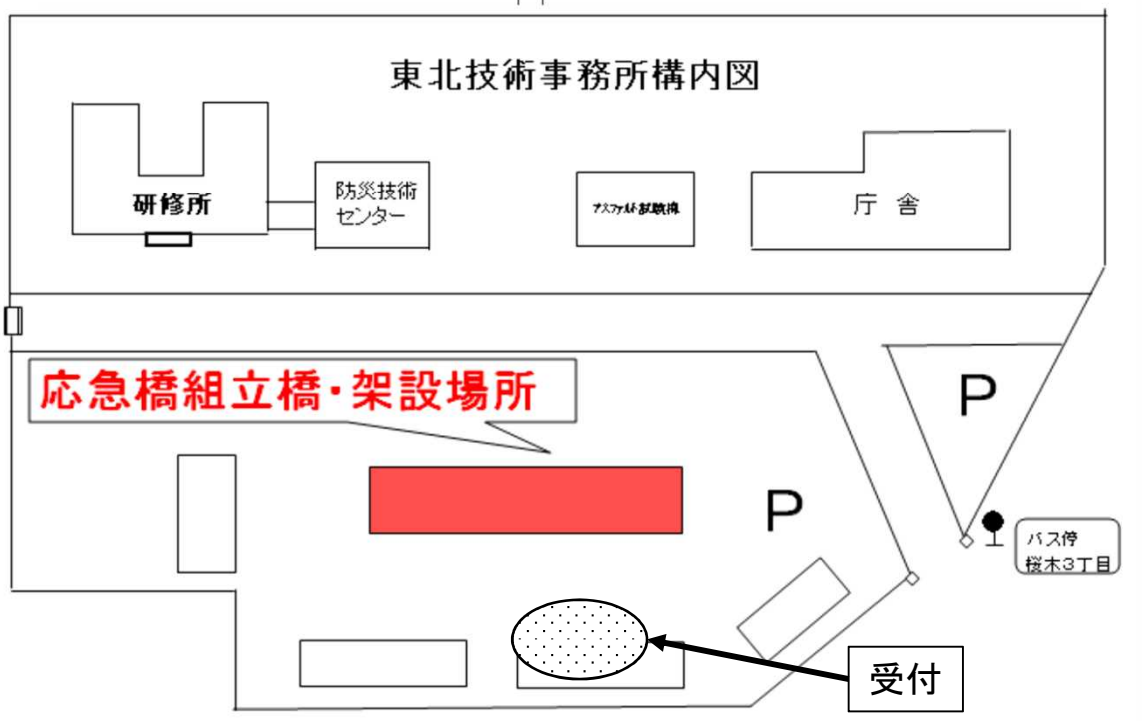
別紙－2

交通アクセス

・JR仙石線の多賀城駅から徒歩20分、車で10分

・バスは宮城交通七ヶ浜方面乗車、桜木三丁目下車徒歩3分。





応急組立橋架設点検　見学会

日時：９月８日(火) 14:00～15:20

場所：東北技術事務所構内

1. 開会挨拶	東北技術事務所長
2. 概要説明	防災技術課長
3. 見学 （作業内容説明）	㈱IHIインフラ建設 （受注者）
4. 質疑応答	
5. 閉会挨拶	東北技術事務所　副所長(機械)

東北地方整備局　東北技術事務所

防災・技術課長　石川　宛

申込先　　ishikawa-i82ac@mlit.go.jp

取材申込書（応急組立橋架設点検見学会）

取材を希望する場合は、この様式により、下記連絡先までメールでお申し込み下さい。
申し込み締め切りは、令和2年　9月　4日（金）17時です。

所属記者会（所属する記者会に○をつけて下さい）
・宮城県政記者会　・東北電力記者会　・東北専門記者会　・その他
会社名及び部署名
取材者　役職・氏名・連絡先（全員の役職・氏名を記載願います）
①（代表者）
②
③
連絡先（代表者の連絡先）

上記のとおり、取材を申込ます。

注意事項

1. 当日取材を希望される方は、東北技術事務所　防災・技術課長　石川までメールにて申込をお願いします。

2. 取材受付にあたっては、事前申し込みを確認させていただきます。

3. 取材にあたっては、担当者の指示に従ってくださるようお願いいたします。